廃棄物最小化計画技術（地域ゼロエミッション計画技術）

廃棄物を資源と考え、循環型社会構築の実現をめざす技術

お　客　様　の　メ　リ　ッ　ト

○廃棄物を資源として有効利用することで、環境負荷（ゴミ、汚染）の 最小化が可能となります。

○複数の機能を取り入れる事により、個々の機能のコストを減らすことができます。

○廃棄物処分費などの低減により、施設運営経費が削減されます。

技　術　の　特　徴

○工場などの施設や地域での、ごみの回収・分別・リサイクル・焼却技術などを提供して､ゼロ・エミッション化に向けた最適な施設を実現します。

ステップ1	廃棄物の実態調査、特性分析	現状の廃棄物の量・質・運用方法をきめ細かく調査
ステップ2	関連法規、社会的動向の調査	社会的動向や法規制を調査し、計画条件を設定
ステップ3	処理方式の抽出	廃棄物の特性から、最適な処理方法を抽出
ステップ4	再生資源利用先の設定	継続的な再生資源の利用先の開拓
ステップ5	適正処理計画の作成	施設の概念設計を行い、適正処理計画を策定
ステップ6	評　価	事業性や周辺環境への影響などを総合的に評価

最適システムの提案

メーカーや系列にとらわれず、最適な機器・システムを選定・提供

実　績　・　事　例

松茂町第二環境センター

■松茂町第二環境センター
：ごみ分別施設　2000.3

K00B42

Copyright(c) 2000年 大成建設株式会社　著作権者の許可なく 複製、転載、第三者開示等の行為を禁止します。